

## 一般上の注意事項

- (1) 競技会場の開場時間について、7日は午前8時30分、8日は午前8時00です。
- (2) 競技会場(体育館フロア)は土足厳禁です。競技役員(係員)の指示や会場の指示に従い、「外履き」と「内履き」の区別を付けてください。
- (3) 団(クラブ)旗・応援旗等は2・3階の指定場所に掲示して下さい。  
大会本部が競技・大会運営に支障があると判断した場合には、指示に従って撤去または移動して下さい。  
※観覧席前は団旗の掲示を禁止します。
- (4) 観客席からの大声の助言・指導およびフラッシュ・ストロボを用いての写真撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。また、競技会場内の電源(コンセント)の使用は禁止します。
- (5) 競技会場の外から持ち込んだものから出たゴミは、各自が責任を持ってお持ち帰りください。
- (6) 競技中の疾病・傷害については、応急処置のみ主催者側で行いますが、その後は各自で処置を行ってください。
- (7) 傷害保険の適用は、競技会場内でのけが等に限りです。万一、けが等が発生した場合は、必ず大会本部に連絡してください。大会当日中に連絡がない場合は、傷害保険の請求ができませんので、ご注意ください。
- (8) 防犯上、貴重品をはじめ私物の管理は、各自で責任を持って行ってください。盗難等のトラブルが生じた場合、大会本部はその責任を負いません。
- (9) 競技会場2階の観覧席から応援する場合、危険防止と他の観客のため、必ず着席して応援してください。前面にある透明なパネルには触らないでください。また最前列は応援席として2列目からお座りください。
- (10) 競技会場内の通路や玄関前等での「素振り」「シャトル打ち」は大変危険ですので、行わないようにしてください。
- (11) 喫煙に関しては決められた場所をお願いします。
- (12) 体育館のランニングコースでのウォーミングアップは、内履きをお願いします。またスピードをあげたトレーニングなどは行わないでください。
- (13) 8日の応援のために7日に張り紙などでの場所取りはお止め下さい。

# 競技審判上の注意

- (1) 本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会平成29年度競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。
- (2) 審判は、全て大会本部にて行います。(各コート2巡目から得点板は敗者となります。)
- (3) 大会日程全日においてタイムテーブルの1巡目のみ開始時間が決まっていますので、開始30分前までに会場に到着してください。  
尚、2巡目以降は空いたコートに入る流し込み方式(試合番号順に空いたコートに入る)で行います。
- (4) 競技の進行を円滑に進めるため、「選手招集」等の放送に十分注意してください。
- (5) 試合が連続する場合は、原則として、試合終了後10分後に次の試合を開始します。  
競技役員の指示に従い、監督・コーチ・選手は選手招集所にすみやかに集合してください。
- (6) コーチ席2席を設けます。ベンチ・コーチ席に入ることができるのは登録した監督・コーチのみです。
- (7) コートへの入場は、主審の先導によりトーナメント表の上側のチーム(選手)から行います。退場は、主審の先導により勝利チーム(選手)から行います。
- (8) 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
  - ①各ゲームにおいて一方のサイドが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
  - ②第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認めます。選手は20秒前にはコートに入ってください。
- (9) インターバル中でのアドバイスは、同時に2人までコートに入ってもよいが、主審が「20秒」とコールしたら、すみやかにコートから離れてください。
- (10) 試合(マッチ)中の水分補給、汗拭き、ラケットの交換、靴ひもの締め直し等、プレーを中断する場合は、必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみ認めます。
  - ①ドリンク容器は、倒れてもこぼれない蓋付きボトルを使用し、主審横の指定した入れ物に入れてください。
  - ②氷嚢は、ベンチまたはコーチ席で小型の保冷バッグ(ソフトバック)等に入れ、保管してください。
- (11) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認めません。
- (12) シャトルは試打してありますので、選択は認めません。また、シャトルの交換については主審が決定しますので、指示に従ってください。
- (13) 試合中のけがや病気に対しては、主審が判断します。主審が必要に応じて競技役員長(レフェリー)を呼んだ時は、競技役員長(レフェリー)の判断に従ってください。
- (14) 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手とコーチ席の監督・コーチのいずれか1名に限ります。  
試合(マッチ)中、インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に座って行い、試合(マッチ)中はコートのそばに立ってはいけません。また、監督・コーチが他のコートに移動したいときは、必ずインプレーでないときに行ってください。
- (15) 競技フロア内での携帯電話等の使用は、一切認めません。携帯電話等は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (16) 試合中にモバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用したアドバイス・コーチングは禁止します。
- (17) 選手は試合開始前および終了後に、主審(及びサービスジャッジ)と握手をすることを心掛けてください。
- (18) 試合中の服装は、白または(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央にゼッケンを付けてください。ゼッケンは都道府県名及び個人名(フルネーム)を明記してください。所属チーム名は記載されていても構いません。  
また、ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成21年8月15日付の日小連文書のとおりとします。
- (19) 監督・コーチの服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。(公認された短パン等も認めます。)
- (20) その他は、代表者会議における打合せ事項のとおりとします。
- (21) コート入場後の公式練習は、初戦のみ主審の指示により同時に2分間行います。  
シングルスの場合は、対戦相手と行ってください。ダブルスはパートナーと行ってください。  
シャトルは各自で準備してください。